

フォーラム

食の偽装問題を考える

近年 食の偽装が後をたちません 食の安全安心はどうしたら守られるのでしょうか
食の偽装をなくすためになすべきこと、できることをみんなで考えてみませんか

日時 平成 **21**年 **1**月 **24**日(土)
13:00 ~ 15:30

場所 **紀の川市役所**
南別館3F (大会議室)
(紀の川市西大井338)

定員 **100**名
(参加費無料、申込不要)
(直接会場にお越し下さい)



基調講演

『食品偽装の背景について考える』

そ う り の り お
惣 宇 利 紀 男 (大阪市立大学 大学院 経済学研究科 特任教授)

プロフィール

経済学博士、(財)関西消費者協会 理事長、大阪府消費者保護審議会 会長、奈良県消費生活審議会 会長
大阪府食の安全・安心推進委員会 委員、NPO法人 ごみゼロネット大阪 代表理事、環境省3Rマイ
スター、大阪市特定団体再検討委員会 委員長・・・等 大学に限らず、多様な場面で活躍中。

シンポジウム

コーディネーター：橋本 卓爾 (和歌山大学経済学部 教授・農学博士)
シンポジスト：石津 剛彦 (弁護士)
山添 博次 (社畜産協会わかやま 事務局長)
川井 考子 (信愛女子短期大学 非常勤講師)
コメンテーター：惣宇利 紀男 (大阪市立大学大学院 特任教授)



主催 高等教育機関コンソーシアム和歌山・NPO法人わかやま暮らしふぁいど
後援 紀の川市・紀の川くらしのネットワーク・紀の川市婦人団体連絡協議会

本講座の企画団体

NPO法人 わかやま暮らしふぁいど

わたしたちの生活は「守ってもらおう」から、「自分で守ろう」さらに「もっと作りかえよう」の時代にかわりました。

安心安全の暮らしのためには、頻発する食品の安全性・偽装表示や悪質商法などの消費者問題について、自ら知識を習得し考え実践していく必要があります。

NPO法人 わかやま暮らしふぁいどは、「消費者の保護を図る活動」分野の消費者組織として2003年8月設立しました。大学教授・弁護士・消費者団体・行政OBが参画し、消費者・企業・行政と協働しながら活動しています。

主 な 事 業

- ☆ 消費生活に関する教育・啓発の学習会やシンポジウム
牛乳食中毒事件を事例に、行政、事業者、消費者それぞれの立場から検証し、シンポジウムを開催し、問題点や今後の課題を学習。
- ☆ 消費生活に関する相談
2005～2007年度に和歌山県から「消費生活電話相談」事業を受託し実施。
- ☆ 「消費生活能力をつける学習会」
消費生活について正しい知識をもち、生活じょうずになるための学習会を開催して消費者力アップを目指し、(財)日本消費者協会の消費生活能力検定試験を実施。
- ☆ 「和歌山発企業の新技术・新製品」の講演会
地元和歌山で頑張る企業から講師を招きその実力を紹介。

高等教育機関コンソーシアム和歌山

和歌山県内の高等教育機関（和歌山大学・和歌山県立医科大学・高野山大学・近畿大学生物理工学部・和歌山工業高等専門学校・和歌山信愛女子短期大学・放送大学和歌山学習センター）は、その知的資源を結集し、連携・協力し、より一層の地域貢献とその魅力発揮を目指して「高等教育機関コンソーシアム和歌山」を組織しています。

本事業は、県内の市町村自治体や、NPOから地域の課題解決や活性化に役立つ講座の企画をご提案いただき、共同で開催することで、共に学び、発展し合うことを目的としています。

● 詳しくはホームページをご覧ください ●

<http://www3.cypress.ne.jp/cw/>